

様式第5号（教育実習実施計画に関する書類）

教 育 実 習 等 実 施 計 画	
1	教育実習等の内容及び成績評価等
①	教育実習等の時期 教育実習：4年次6月～11月
②	教育実習等の実習期間・総時間数 教育実習：2～3週間（90～120時間）
③	実習校の確保の方法 教育実習：本学と高大連携事業協定を締結する石川県立金沢辰巳丘高等学校及び金沢高等学校を実習校として確保する。なお、両高等学校から教育実習生受入について、あらためて承諾をいただいている。なお、石川県立金沢辰巳丘高等学校における実習生受入については、石川県教育委員会からも承諾をいただいている。
④	実習内容 教育実習：学習指導、生徒指導、学級経営、教材研究、授業参観、授業担当、クラブ指導、部活動観察、研究授業、当該教科担当教諭及びクラス担当教諭との打ち合わせ等
⑤	実習生に対する指導の方法 教育実習：教職課程委員が実習校に出向き、実習生の研究授業等を確認したうえ、指導担当教諭と面談、協議し実習生への指導を行う。また、教職課程委員が実習校に訪問する際には、実習生から研究授業が行われる日程を確認するとともに研究授業に向けた教案の確認を行う。
⑥	実習の成績評価（評価の基準及び方法） 教育実習：教職課程委員会において、実習校から提出された成績及び教育実習事前事後指導における成績並びに取組状況等を確認のうえ、評価を行う。 ※ 評価項目表、評価シート等がある場合は、本計画書に添付すること。
2	事前及び事後の指導の内容等
①	時期及び時間数 教育実習：（1）事前指導…4年次教育実習前（前期前半）1コマ（90分）×9回 *第1回オリエンテーション含む （2）事後指導…4年次教育実習後（後期）1コマ（90分）×6回
②	内容（具体的な指導項目） 教育実習 第1回 オリエンテーション【事前事後指導の学習内容の確認】 第2回 事前指導1【教育実習の心構え①】 第3回 事前指導2【教育実習の心構え②】 第4回 事前指導3【教育実習のための準備】 第5回 事前指導4【教育実習日誌①】 第6回 事前指導5【教育実習日誌②】 第7回 事前指導6【教育実習と生徒対応】 第8回 事前指導7【教育実習とチーム学校】 第9回 事前指導8【教育実習の評価】

- 第10回 事後指導1【教育実習報告の手順と資料作成方法①】
 第11回 事後指導2【教育実習報告の手順と資料作成方法②】
 第12回 事後指導3【教育実習報告と情報共有①】
 第13回 事後指導4【教育実習報告と情報共有②】
 第14回 事後指導5【教育実習報告と情報共有③】
 第15回 事後指導6【教育実習総括（成果と課題の確認）】

3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

① 大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

・ 委員会等の名称

教職課程委員会

・ 委員会等の構成員（役職・人数など）

委員長 1人

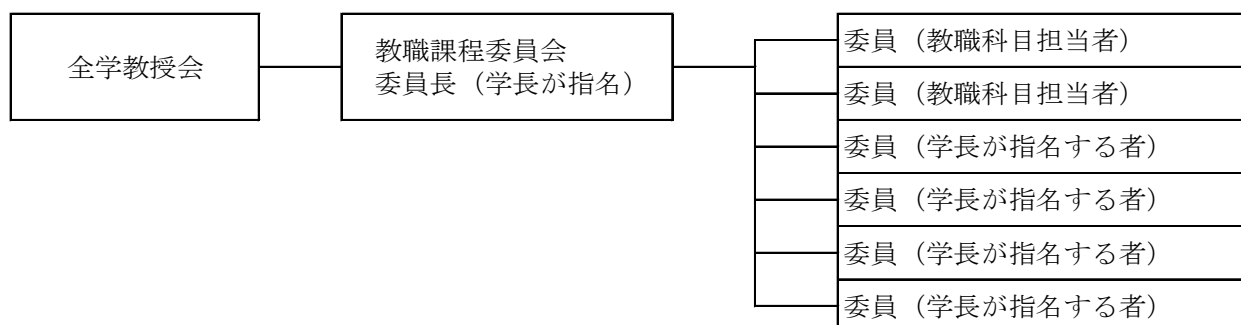
委員 教職科目担当者・・・2人以内
 学長が指名する者・・・4人以内

・ 委員会等の運営方法

委員会では委員長が議長となり、以下の項目について審議を行う。委員会の運営については、委員の過半数の出席が必要となり、審議事項は出席委員の過半数で決まる。また、委員会が必要と認めた場合、委員以外の教職員の出席を求め意見を聴く。

- 教職課程の編成に関する事
- 教育実習実施計画に関する事
- 教育実習成績評価方法に関する事
- 教育実習協力校に関する事
- その他教職課程に関する事

【委員会の組織図】



② 大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等（※学校体験活動を含む場合は、大学と学校との連携体制についても記載すること。）

・ 委員会等の名称

教職課程委員会

・ 委員会等の構成員（役職・人数など）

委員長 1人

委員 教職科目担当者・・・2人以内

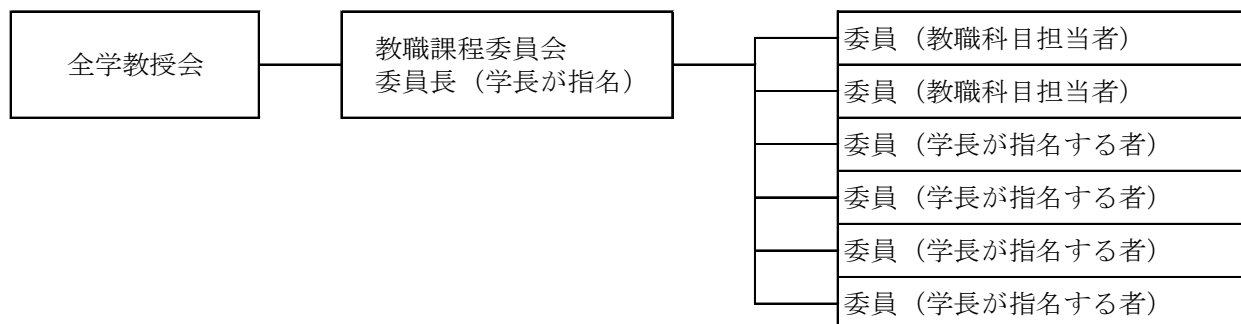
学長が指名する者・・・4人以内

・ 委員会等の運営方法

委員会では委員長が議長となり、以下の項目について審議を行う。委員会の運営については、委員の過半数の出席が必要となり、審議事項は出席委員の過半数で決まる。また、委員会が必要と認めた場合、委員以外の教職員の出席を求め意見を聴く。

- 教職課程の編成に関する事
- 教育実習実施計画に関する事
- 教育実習成績評価方法に関する事
- 教育実習協力校に関する事
- その他教職課程に関する事

【委員会の組織図】



4 教育実習の受講資格

（１）教育実習実施年次（原則４年次）までに開講される「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「教科及び教科の指導法に関する科目」の単位を全て修得済みであること。

（２）教職課程委員会において、専門教科の学力が十分と判断され、かつ教員志望の意思が強固であると認められた者。

5 実習校

教育実習	体験活動	学級数の合計	高等学校 46 学級
○		学校名	石川県立金沢辰巳丘高等学校（石川県金沢市末町二 18） 学級数：8 生徒数：218 人
		教員数	46 人 （内訳） 教諭 27 人、養護教諭 1 人、講師 17 人、ALT 1 人
○		学校名	金沢高等学校（石川県金沢市泉本町 3-111） 学級数：38 生徒数：1,281 人
		教員数	107 人 （内訳） 教諭 68 人、講師 35 人、養護教諭 1 人、理化助手 1 人、養護助手 1 人、教育相談室補助 1 人

總 合 批 評

檢 印	学校長	教 頭

教科指導教諭

印

学級指導教諭

印

年度 教育実習成績評価表（北陸大学）

年 月 日

北 陸 大 学 長 殿

学 校 名 _____

学校長名 _____

所在地 〒 _____

TEL. _____

教育実習生 氏 名					所 属	学 部 学 科 科目等履修生				学 籍 番 号				
実習期間	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()						実習教科							
出勤状況	出 勤 すべき 日 数	日	出 勤 日 数	日	欠 勤 日 数	日	病 気 事 故 その他	日 日 日	遅刻	回	早退	回		
授 業 観 察 時 間 数	時間		教育指導 時 間 数		時間		特別活動		時間		その他 ()		時間	
教科指導 学 年					担当学級				参加クラブ					
下記の評価項目について、該当する評価に○印をつけてください。 A＝主な着眼点を十分に達成している B＝主な着眼点を達成している C＝主な着眼点を最低限達成している なお、○印だけでは不十分な場合、所見欄にご記入願います。また、項目以外について評価する事項があれば、その他にご記入願います。														
評 価 項 目	主 な 着 眼 点						評 価		所 見					
生徒との触れあい	生徒の心情をよく理解しようとして、生徒と親しく話しあったり、生徒の中に溶け込もうとしたか等						A・B・C							
教 職 へ の 関 心	指導教員の助言に従い、教育諸活動に積極的に取り組もうとする姿勢がみられたか等						A・B・C							
自 己 表 現 力	自分の考えや意思を、ことば・文字・その他の表現・手段でどれだけ明瞭にわかりやすく表現しようとしたか等						A・B・C							
教 材 研 究	教科内容について十分な理解をもっているか、教材の選択や作成、利用の仕方は適切であったか等						A・B・C							
教 科 指 導 の 技 術	指導案の立てかたや、発問の説明など授業展開の工夫、生徒への対応の仕方は適切であったか等						A・B・C							
学 級 経 営 生 徒 指 導	個々の生徒や学級の実態の把握に努め、生徒活動や学級の諸活動に参加して、効果的な指導ができたか等						A・B・C							
事 務 ・ 実 務 能 力	生徒指導上及び学級経営上の事務処理等を手際よく行えたか等						A・B・C							
実 習 態 度	常にきまり正しく、誠意をもって実習を行った。また、学校の方針に理解を示し、協力的であったか等						A・B・C							
教 育 実 習 へ の 取 り 組 み 方	出欠、早退、遅刻の状況、諸会合への参加、服装、言葉、礼儀、態度、責任感、熱意。実習日誌や書類の期限内での作成、提出。教育環境の管理。						A・B・C							
そ の 他														
総合評価	A：実習生として優れている。 B：実習生として十分に努力した。 C：いま少し積極的な実習への取り組みが望まれる。 D：実習の効果が全くみられない。 ○を付けてください。						総合所見							
教 科 指 導 教 諭					学 級 指 導 教 諭					評 価 表 記 入 教 諭	☐			

【備考】 教育実習成績評価表は、お手数でも、実習終了後2～3週間以内に本学所定の封筒（簡易書留）で送付願います。

金辰高 第 1253 号

令和 4 年 12 月 16 日

北 陸 大 学

学 長 小 倉 勤 殿

石川県立金沢辰巳丘高等学校

校 長 山 下 一 義

教育実習生受入に関する承諾書

北陸大学が下記の教員免許状授与の所要資格を得させるための課程の認定において、文部科学大臣の認定を得たうえは、北陸大学経済経営学部経済学科の学生を教育実習生として受入れることを承諾します。

記

学 部	学 科	免許状の種類	免許教科
経済経営学部	経済学科 入学定員 140 人	高等学校教諭一種免許状	公民

教 職 第 5 4 3 号

令和4年12月15日

北 陸 大 学

学長 小倉 勤 様

石 川 県 教 育 委 員 会

教育長 北野 喜樹

(公 印 省 略)

教育実習受入れに関する承諾書

北陸大学 経済経営学部 経済学科が、教育職員免許法第5条第1項別表第1備考第5号及び教育職員免許法施行規則第21条の規定により、高等学校教諭一種免許状の所要資格を得させるための課程として認定された上は、下記の学校において教育実習を受け入れることを承諾いたします。

記

- ・ 石川県立金沢辰巳丘高等学校

令和4年12月20日

北 陸 大 学
学 長 小 倉 勤 殿

金沢高等学校
校 長 杉 浦 外 美 夫

教育実習生受入れに関する承諾書

北陸大学が下記の教員免許状授与の所要資格を得させるための課程の認定において、文部科学大臣の認定を得たうえは、北陸大学経済経営学部経済学科の学生を教育実習生として受入れることを承諾します。

記

学部	学科	免許状の種類	免許教科
経済経営学部	経済学科 入学定員 140 人	高等学校教諭一種免許状	公民